

実績確認概要書

平成 25 年 5 月 20 日
審査機関名 (株)JACO CDM

1. 排出削減事業の概要

| | |
|--------------|---|
| 排出削減事業名 | 工業炉設備の燃料転換 (L P G L N G) |
| 承認番号 | JCDM-PJ1228 |
| 排出削減事業者名 | 吉野石膏株式会社 |
| 排出削減共同実施事業者名 | カーボンフリーコンサルティング株式会社 |
| 事業実施場所 | 吉野石膏株式会社 (愛媛県今治市富田新港 1-1-1) |
| 事業の概要 | 焼成工程の焼成炉 1 基及び乾燥炉 2 基のバーナーを L P G から L N G に改造することによる生産性の向上及び、燃料の種類を変えることとの両面から C O 2 排出量の削減を図る。 |
| 排出削減量の計画 | 2011 年度： 2,334tCO ₂ / 年 2012 年度： 2,334tCO ₂ / 年 (事業実施期間合計 4,668tCO ₂) |
| 国内クレジット認証期間 | 開始日 2011 年 4 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日 |
| 排出削減方法論 | 方法論番号 003 工業炉の更新 |

2. 本実績確認の対象期間

2011 年 4 月 1 日 ~ 2013 年 3 月 31 日 (第 1 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

| | |
|-------|---|
| 排出削減量 | 5,070 tCO ₂ (2011年4月1日 ~ 2013年3月31日) |
|-------|---|

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

| 要件 | 実績確認手続き |
|--|---|
| 排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること | <ol style="list-style-type: none">1) 開始日の確認 承認排出削減事業計画通りに、本事業が2011年4月1日に開始されたことを、エネルギー使用実績データ及び事業者への質問により確認している。2) 対象期間中の設備稼働確認 承認排出削減事業計画通りバーナーの改造により燃料のLPGからLNGへの転換が実施され稼働していることを、エネルギー使用実績データより確認している。 |
| 排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること | <ol style="list-style-type: none">1) モニタリング方法の確認 承認排出削減事業計画に従い、燃料使用量及び生産量の記録集計等のモニタリングが実施されていることを記録されたデータにより確認している。2) 活動量の正確性 承認排出削減事業計画通り生産量あたりのエネルギー使用量を原単位とし、生産量を活動量として採用している。燃料使用量はメーターによる計測値が、生産量は実測値が記録集計されていることを確認している。3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等が、各排出削減方法論、認証委員会配布資料、及び承認排出削減事業計画に従っていることを確認している。4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 本実績確認の対象期間の測定結果と排出削減量の算定結 |

| | |
|------------------------------|--|
| | 果の突合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確である事を確認している。 |
| 算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと | 本実績確認の対象期間は、2011 年 4 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないことを確認している。 |

5 . 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

特になし。

6 . 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネ量については原油換算 803.6kl であることを確認している。

以上